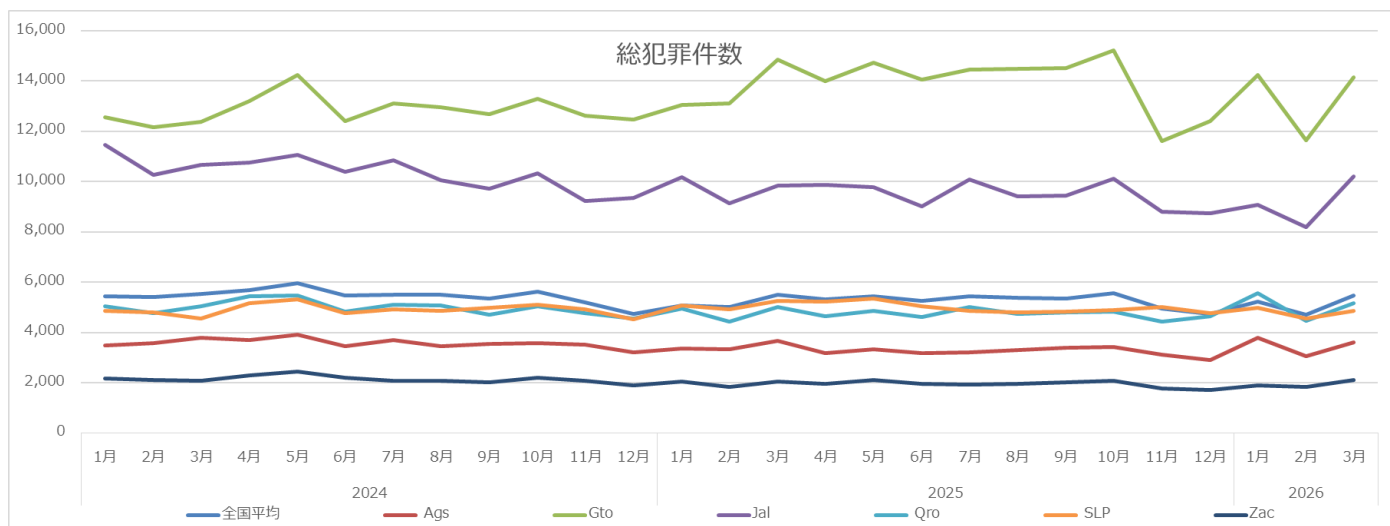


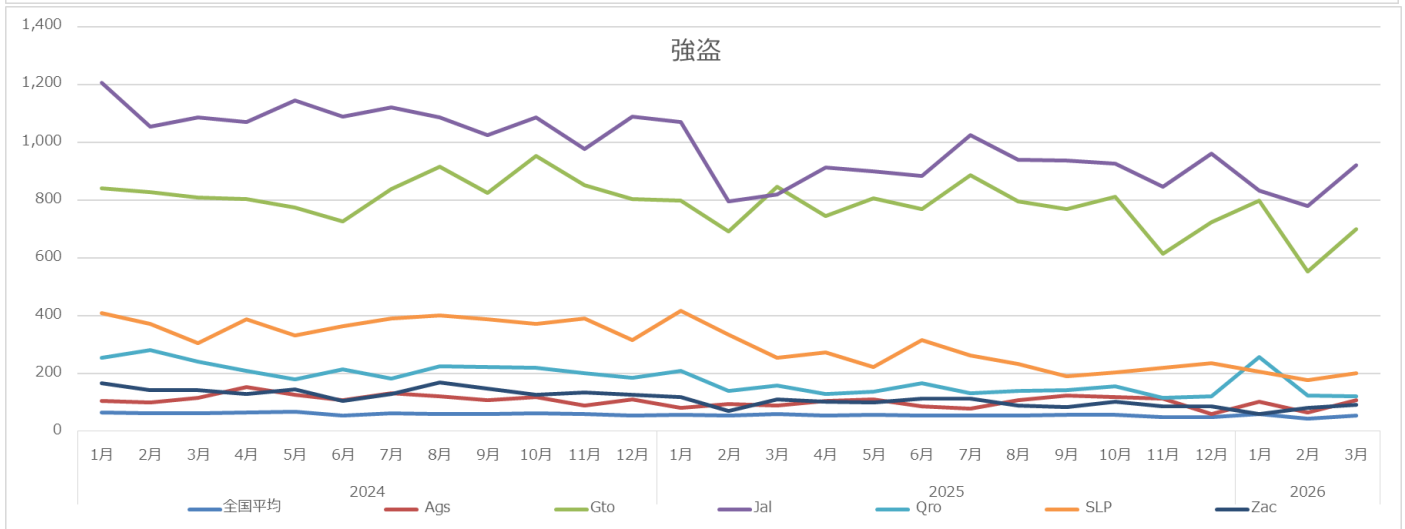
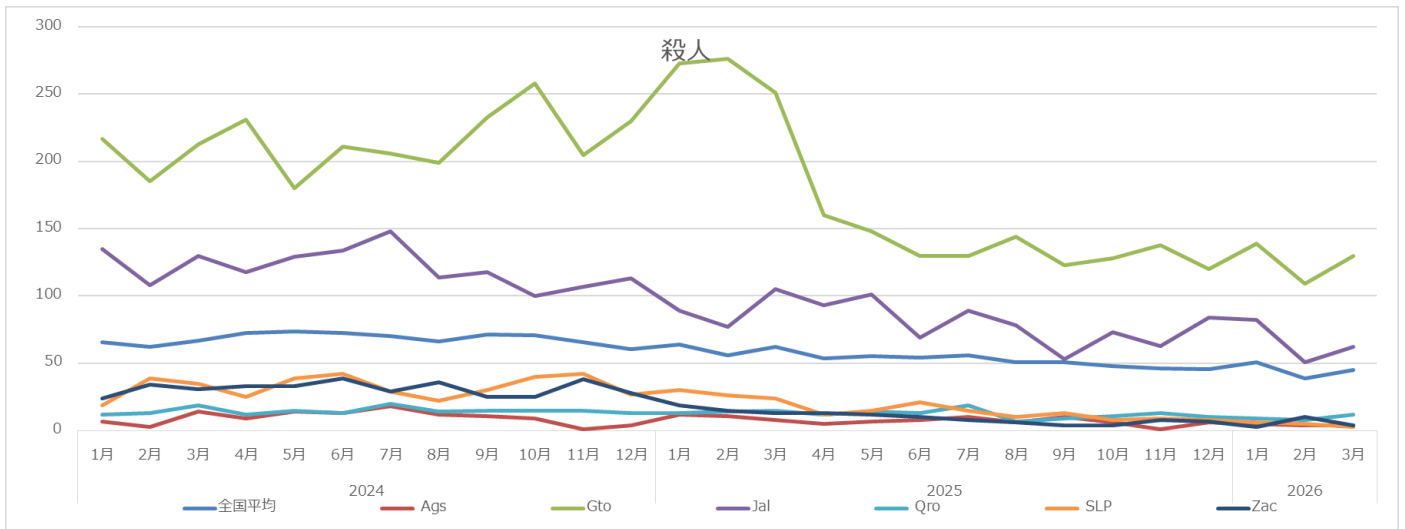
1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数の麻薬カルテルが存在しており、殺人の多くは麻薬カルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、殺人が最も多く発生している州であり、2025年は2,021件で全国1位でした。2026年2月22日には、メキシコ連邦政府により、CJNGの最高幹部を標的とした掃討作戦が実施されました。今後、同カルテルによる治安機関に対する報復活動が発生する可能性も否定できないことから、特にハリスコ州及びグアナファト州ではカルテルの活動が活発である点を踏まえ、治安機関から発出される最新の治安情報に十分留意してください。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われていますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれる可能性があるほか、誤認により殺害されるケースも見られるため十分注意が必要です。

グアナファト州では特にセラヤ市からアパセオ・エル・グランデ市周辺の連邦高速道路45D号線では、車両への襲撃事件が引き続き発生している他、イラプアト市など邦人が多く在住する都市において殺人が急増しています。

メキシコではいずれの州においてもカルテルが活動しており、複数のカルテルが1つの州内で活動している場合がほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件などが発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けてください。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナファト州

・人口約616万人 犯罪認知総数（1月～3月）40,021件

殺人事件の件数はここ数年徐々に減少しつつあるものの、依然として高い水準にあり、予断を許さない状況が続いています。また、カルテルによる事件も引き続き発生すると考えられます。こうした治安状況の中、特に車両強盗被害は依然として多く発生しており、注意が必要です。

車両強盗被害は、幹線道路及び高速道路の中でも、特に幹線道路45号線及び高速道路45D号線において確認されています。2025年1月から12月までに当館へ報告のあった州内の車両強盗による邦人被害は、未遂を含め5件でした。

都市間移動に際しては時間帯等を考慮した運行計画を立てることが重要ですが、通勤時間帯を含め、日中・夜間を問わず車両強盗被害が継続して発生しています。例えば、複数の車で移動するとか、警護車をつけることなど、より厳重な対策をとることを検討ください。被害者の国籍を問わず、SUVタイプ及びピックアップタイプの車両が対象となりやすい傾向が認められます。

・邦人被害（1月～3月）3件（車上ねらい3件）

●車上ねらい

1月5日20時頃、邦人男性（企業駐在員）がイラプアト市ハカランダショッピングセンター向かいのコンビニエンスストア前の駐車場に駐車し、店内で5分程度買い物をし戻ったところ、運転席側後部座席の窓ガラスが割られ、トランクに入れていた鞆（会社用PCおよび身分証等入り）が盗まれていた。

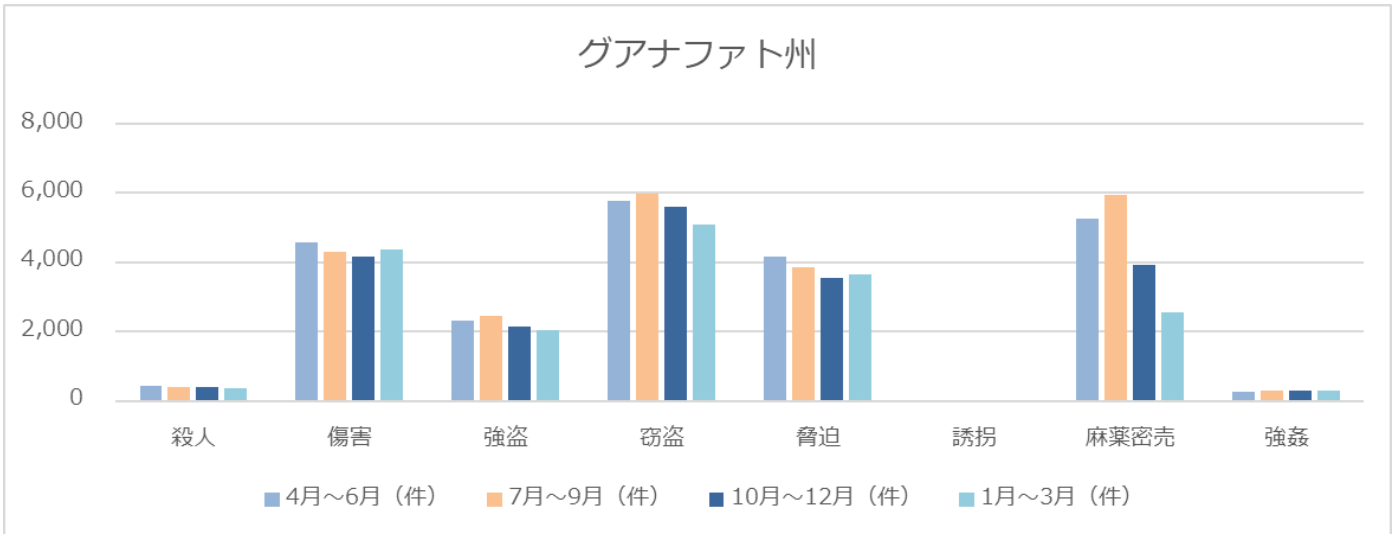
1月19日19時40分頃、邦人男性（企業駐在員）がイラプアト市北部のサンアントニオ通り沿いのコンビニエンスストアの駐車場に駐車し、店内で5分程度買い物をし戻ったところ、助手席側後部座席の窓ガラス

が割られ、助手席側後部座席に置いていた鞆（パスポート、PC、携帯電話入り）が盗まれていた

3月20日17時30分から20時30分、邦人男性2名（企業駐在員1名及び企業出張者1名）がイラブアト市北部のレストラン駐車場に社用車を駐車。レストラン到着時、降車の際にバックパック（会社用PC、Air-pod、財布、免許書、各種クレジットカード、現金入り）を後部座席に移して隠し店内へ移動。食事をして戻ったところ、助手席側後部座席の窓ガラスが割られ、後部座席下に置いていた当該バックパックが盗まれていた。

→ 車上荒しに遭わないためにも路上駐車はせず、公共の駐車場を利用してください。路上駐車となることが事前に分かった場合は、自家用車を利用せず、配車アプリ等の利用を検討してください。また、僅かな時間であっても車から離れる際は鍵を掛けて、パソコンやスマートホン、パスポートなどの貴重品やバッグは、車内に残さず必ず携行するか、外出時に不必要なものは、なるべく持たないようにしてください。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	438	397	386	378
傷害	4,574	4,312	4,171	4,374
強盗	2,323	2,452	2,151	2,051
窃盗	5,755	5,972	5,597	5,102
脅迫	4,162	3,840	3,563	3,633
誘拐	4	3	4	3
麻薬密売	5,243	5,947	3,920	2,557
強姦	262	307	291	277



(2) アグアスカリエンテス州

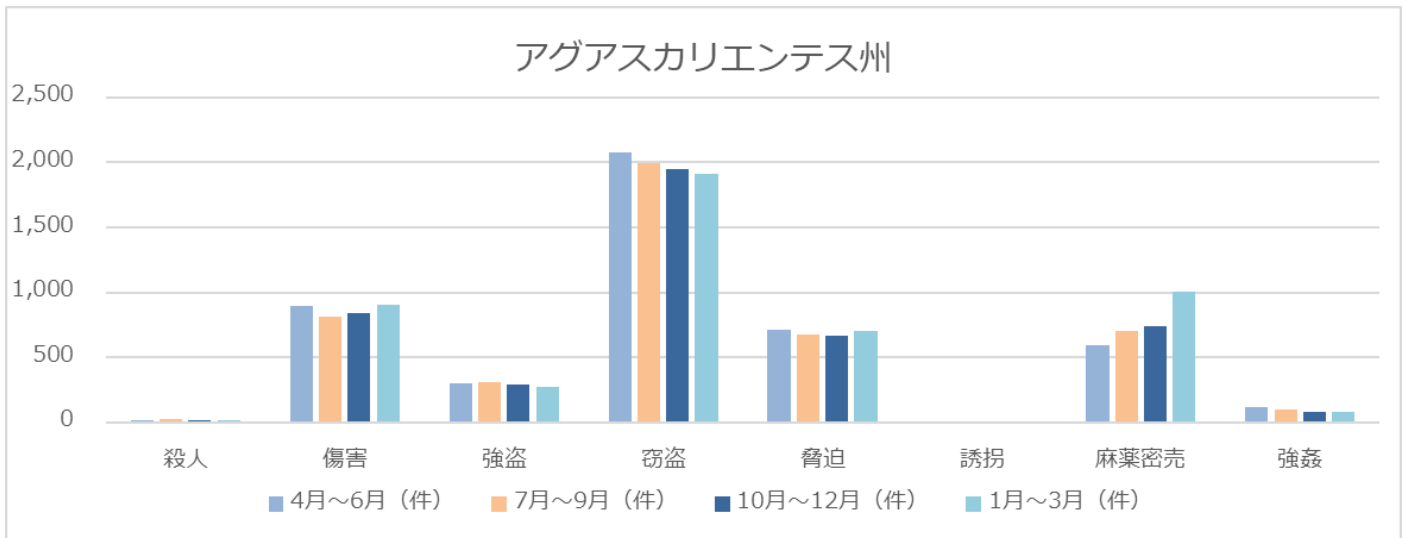
・人口約142万人 犯罪認知総数（1月～3月）10,454件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率（人口の割合）では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市内で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する場所は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底してください。

・邦人被害（1月～3月）0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	20	26	13	13
傷害	897	811	843	902
強盗	300	310	292	273
窃盗	2,079	1,994	1,948	1,908
脅迫	710	675	663	704
誘拐	0	0	0	0
麻薬密売	591	702	743	1,004
強姦	112	95	80	83



(3) ハリスコ州

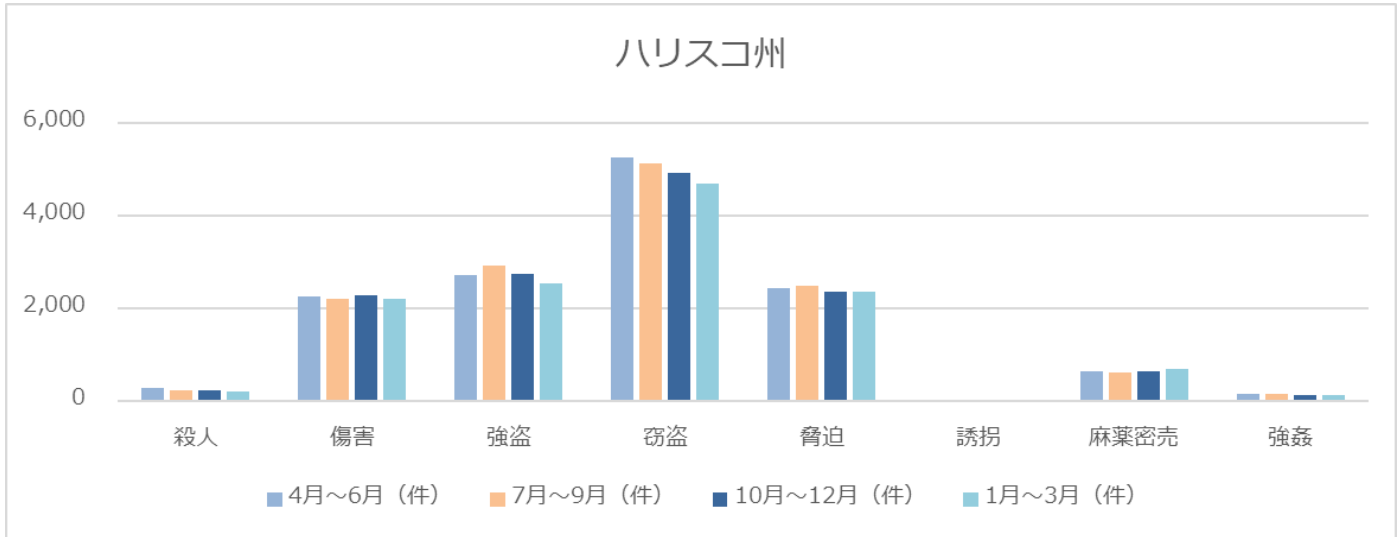
・人口約834万人 犯罪認知総数(1月～3月)27,456件

窃盗及び強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く、注意が必要です。高速道路でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。旅行者、出張者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意ください。

・邦人被害(1月～3月)0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	263	220	220	195
傷害	2,248	2,184	2,272	2,209
強盗	2,698	2,903	2,734	2,535
窃盗	5,257	5,126	4,909	4,678
脅迫	2,434	2,477	2,356	2,361
誘拐	3	3	4	1
麻薬密売	620	611	622	686
強姦	147	146	112	108



(4) ケレタロ州

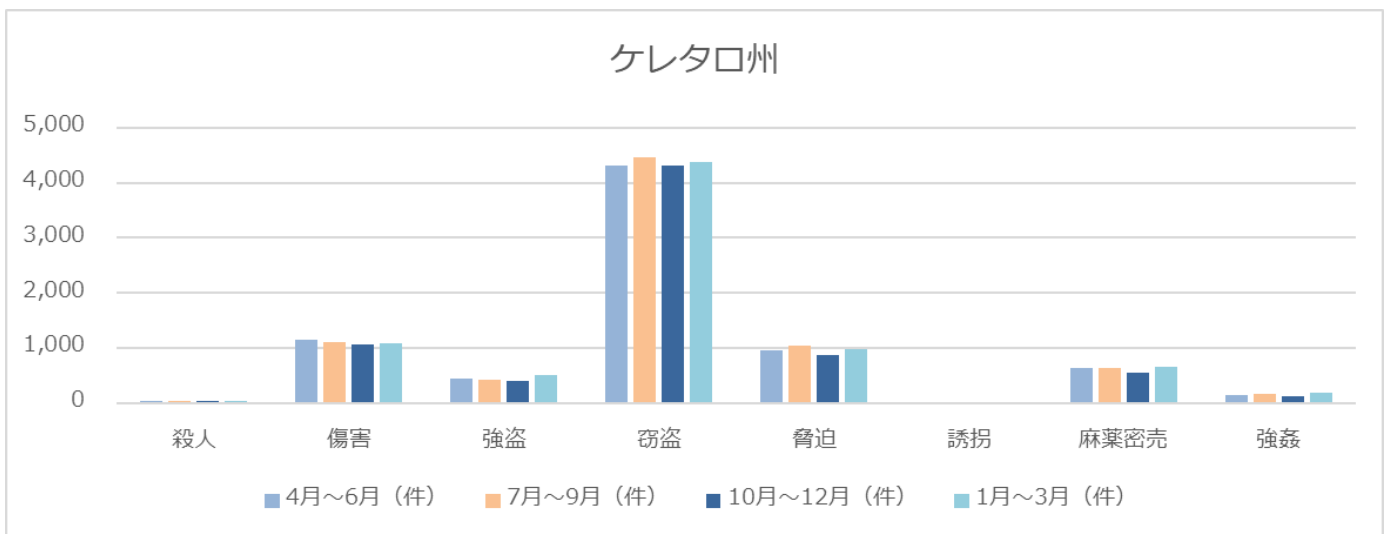
・人口約236万人 犯罪認知総数(1月~3月)15,185件

殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市内で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナファト州やメキシコ州の治安が不安定であり、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路や幹線道路など多車線道路を利用してください。

・邦人被害(1月~3月)0件

1月~3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月~6月(件)	7月~9月(件)	10月~12月(件)	1月~3月(件)
殺人	39	35	34	29
傷害	1,147	1,101	1,052	1,076
強盗	431	414	394	500
窃盗	4,302	4,457	4,320	4,385
脅迫	963	1,037	868	977
誘拐	0	0	0	0
麻薬密売	632	625	555	658
強姦	142	170	126	181



(5) サンルイスポトシ州

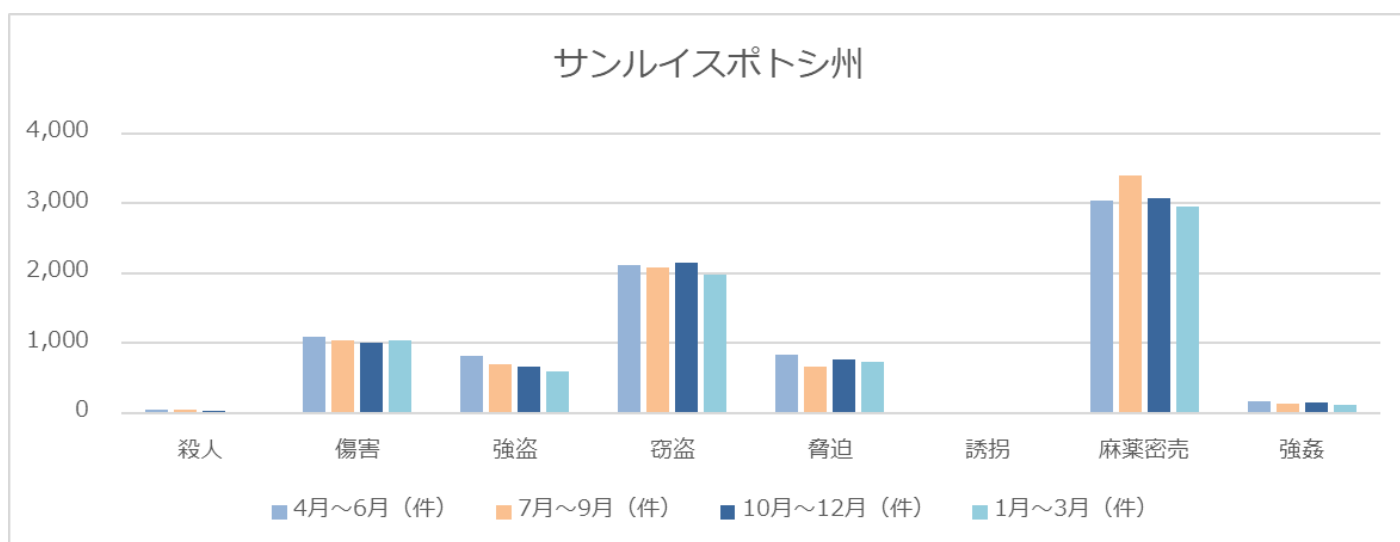
・人口約282万人 犯罪認知総数（1月～3月）14,384件

強盗件数は年々増加傾向となっており、その発生率（一定人口当たりの割合）も高くなっています。また、麻薬に関連する犯罪も顕著に増加しており治安が悪化する傾向にあります。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件も発生しておりますので、十分注意をしてください。

・邦人被害（1月～3月）0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	48	38	25	14
傷害	1,093	1,034	1,008	1,041
強盗	812	687	658	585
窃盗	2,109	2,073	2,145	1,975
脅迫	829	661	756	722
誘拐	1	1	2	1
麻薬密売	3,047	3,393	3,069	2,950
強姦	171	134	145	118



(6) サカテカス州

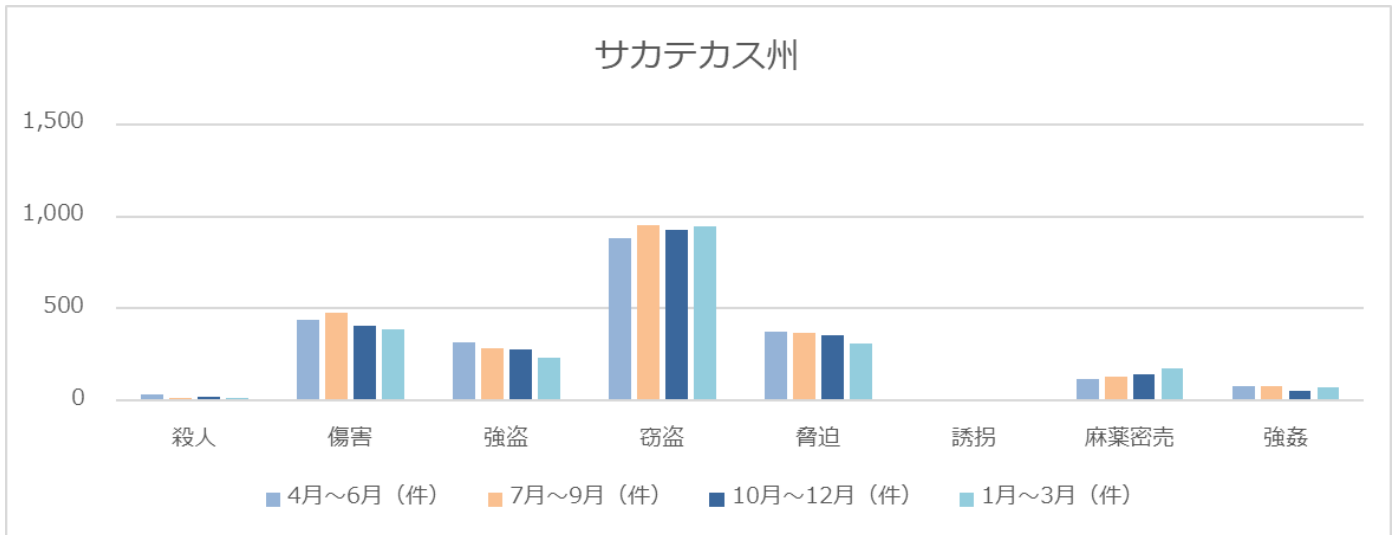
・人口約162万人 犯罪認知総数（1月～3月）5,818件

殺人件数は、近年では麻薬関係者の抗争が落ち着いていると言われており、減少傾向にあります。しかし、その他の犯罪発生件数は依然として横ばいの状態が続いているため、引き続き十分な注意が必要です。

・邦人被害（1月～3月）0件

1月～3月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)	1月～3月(件)
殺人	35	18	19	17
傷害	436	475	405	388
強盗	316	285	277	233
窃盗	879	955	925	944
脅迫	377	367	354	313
誘拐	1	0	0	0
麻薬密売	115	133	141	173
強姦	82	77	53	72



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が活発化しており、これら組織が関与した銃撃事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りを極力避けるとともに、違法薬物には一切関わらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、銃撃事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の状況に注意してください。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、この様な事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域の通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる殺傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従ってください。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車両関連の犯罪被害が引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地域内では、車両関連の犯罪被害や連邦高速道路45D号線上の強盗被害が目立ちます。連邦高速道路45D号線を利用する際は、可能な限り日中移動と複数人、複数台で行動し、行動スケジュールを家族、友人、会社に事前に伝えておくことや、緊急連絡先をメモし携帯しておく、グアナファト州警察が提供するアプリ「EmergenciasGT0911」をダウンロードしておく、などの対策を検討ください。万が一強盗被害に遭遇してしまったら、気持ちを落ち着かせましょう。犯人は拳銃等を所持している可能性が非常に高いため、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先してください。犯人から解放されたら、周囲に助けを求め、911番（警察、消防、救急への緊急通報

番号) に通報するとともに、検察局に被害届けを提出してください。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず9 1 1番通報を行うよう心掛けて、検察局 (Fiscalía General) に被害届を提出してください。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様に注意喚起することができます。また、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができますので、ご協力をお願い致します。

5 バヒオ地域以外における日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載していますので、ご参照ください。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上